

子どもの将来の学力を伸ばす 絵本の読み聞かせ

～ 園だより4月号 園での読み聞かせ絵本・紙芝居のご紹介 ～

多くの本を読んで育つと、語彙やものごとの知識が豊富になるだけでなく、読解力・思考力・判断力・集中力・表現力・共感力が培われます。毎日のクラス毎の活動では、保育士が絵本や紙芝居の読み聞かせを実践中です。また、子どもたち自身も小さいうちから絵本を眺めたり、自分で読んでいたりしています。子どもたちは目をキラキラと輝かせ、絵本に集中しています。当園での年間読書量は約1000冊です。

乳幼児期から本に触れることにより、勉強の習慣付け、基礎学力の定着に繋がります。各クラスより今月のおすすめ絵本をご紹介します。絵本選びの参考となれば幸いです。



★ 今月の読み聞かせ絵本・紙芝居のご紹介 ★

<赤ちゃん組・たんぽぽ組（0・1歳児）>		<すみれ組（2歳児）>	
			
タイトル	ぴよちゃんのかくれんぼ	タイトル	しっぽしっぽしっぽしっぽ
作者	いりやま さとし	作者	木曾 秀夫
出版社	株式会社 学習研究社	出版社	フレーベル館
<さくら組（3歳児）>		<もも組（4歳児）>	
			
タイトル	よろしくともだち	タイトル	だんごおしのころちゃん
作者	内藤 麟太郎	作者	高家 博成
出版社	偕成社	出版社	童心社
<ふじ組（5歳児）>			
			
タイトル	ちか100かいだてのいえ		
作者	いわい としお		
出版社	偕成社		